

りとい入ってました。
板谷波山の描画を見て色が
の色が想像できたと感想を書いた記者も
いて、作品や技術の凄さが伝わります！



レオちゃん

わんがっ にち がっ にち
2023年9月23日～11月19日

『出光美術館近代美術名品選』

『四季が彩る美の世界』

こんでん
今展のテーマは、
しゅん か しゅうとう
『春夏秋冬』



イラスト 田野 心絆

こんかい てんじかい しゅん か しゅうとう うつく
今回の展示会のテーマは、「春夏秋冬」だそう。美
あひらえ こうげいひん あつ てんじかい たし し ぜん
しい油絵や工芸品が集まった展示会で、確かに自然の
ようす いろいろ いる えが かた えが さくひん
様子を色々な色、描き方で描いたすばらしい作品がた
くさんあった。また、油絵だけではなく、紙に描かれ
さくひん ひかり よわ てんじかい ぜんたいてき しゅうめい お
た作品は、光に弱いため、展示会は全体的に照明を落
てんじ たいしょうじだい
として展示されているそう。やきものは、大正時代
つく もの しょうわじだい もの ひる ねんだい
に作られた物から、昭和時代の物まで、はば広い年代
のやきものが展示されていた。どれも形から色、がら
までとても細かく描かれていて、見れば見るほど美し
さが出てくる作品だと思った。 まえはら
(前原みのり)



中国っぽい雰囲気のものが多い？

こんかい てんじ み ちゅうごく ふん い き おお かん
今回の展示を見て、ぼくは中国っぽい雰囲気のものが多いと感じ
ました。なぜかという、《葆光彩磁鸚鵡唐草彫嵌模様花瓶》は、
え えが ほうおう
オウムの絵が描かれていましたが、どちらかといえば、鳳凰など
とり ちゅうごく せかい ばんとうえん
の鳥ににていたし、ぼくは中国の昔話、『西遊記』を読んだので
が、西遊記の世界の天界に蟠桃園というものがある、そこには
さいゆうき せかい てんかい ばんとうえん
文字どおり桃の木があります。今回の展示に《放牛桃林図・太平
もじ もも き こんかい てんじ ほうぎゅうとうりん ず たいへい
有象図》というびょうぶがありました、その絵にも桃の木が書
かれていて、遠くの山には霞がかかっていました。 (幅田 智樹)

とくべつてん
特別展

いひみつ こうさんかぶしきがいしゃ ほつかいどうせい ゆ じょうまう
出光興産株式会社北海道製油所操業50周年

じゅうわん とま こ まい し ひ じゅうほうつかん かいかん じゅうわん
苫小牧市美術博物館開館10周年



ジ ヨルジュ・ルオーの世 界

日本の絵と似ているルオーの

《シエールの思い出》(1930)

え どうぶつ まだ くら
この絵には、動物がかくれている。又、黒
くろつよ せん
々強い線でりんかくをしっかりと描いている
ので、日本の絵と似ている感覚があるとの
こと人気がなるそう。 (たの さあや 田野 紗彩)

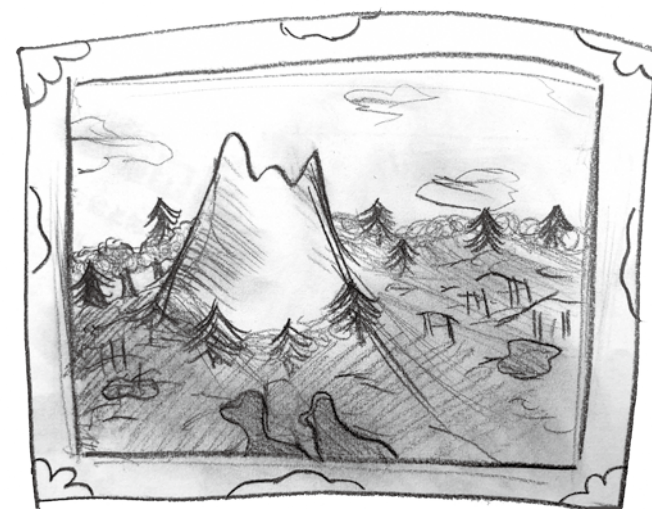


イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人

おも 重そうだけど、素材は漆



イラスト まえはら かほ 前原 夏帆



イラスト ひきち ゆめ 引地 優萌

つるつるして、おもそうだけどうる
しをぬってつくられているのをしってと
てもおどろいた。 まえはら かほ
(前原 夏帆)



イラスト たの かな 田野 菜絆



イラスト たの こな 田野 心絆



イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人

東山魁夷の世界



しゅんしょう 《春梢》 昭和58年(1983)

この作品は、日本画の技法で描かれていて、岩絵の具という絵の具を使っているそうだ。ドイツの森の風景だが、北海道の森の雰囲気ともよく似ている。黄緑色の若葉を点のように細かく描き、春の様子を表現している。

の もと はる (野本 遥)

ぼくは、今日とても気に入った絵をしようかします。岩えのぐの《春梢》という作品です。気に入ったところは、色があざやかなところと、道がせまくなって本当に道があるかのように思えてくる所です。最初に言ったとおり、岩えのぐなので油えのぐと表面のちがいや色のこさをくらべてみるのも楽しいです。ぜひ、見てください。



にほん え いわ え く つか いろいろ 日本の絵は、「岩絵の具」を使っていて、色々な所から見るとキラキラしている。又、絹や紙などにかかれていますので、あまり強い光に当てると日に焼けてしまいやすくなるので、今回はしょうめい お てんじ 照明を落として展示されていた。(田野 紗彩)

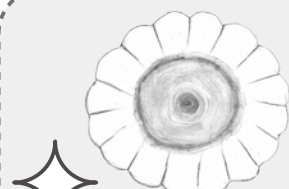


イラスト のもと はる 野本 遥



イラスト たの さあや 田野 紗彩

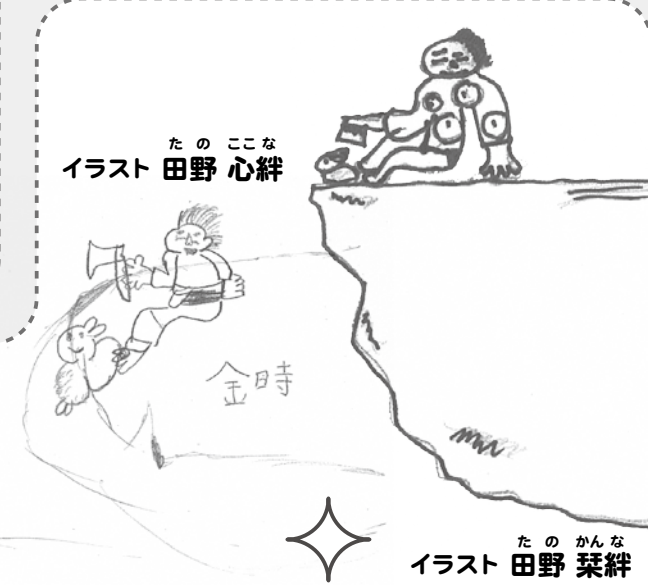


イラスト たの ここな 田野 心絆

イラスト たの かな 田野 菜絆

小杉放菴の世界

きんとき 《金時》 昭和時代

金時の小さい時の名前は金太郎。金時と金時のお友だちのうさぎさんは何をながめているのかなあ。やさしい感じがしている。

ちい ころ な 小さい頃の名は 『金太郎』

たの かな (田野 菜絆)

出光美術館近代美術名品選—四季が彩る美の世界

板谷波山の世界

さいじ たけみき かびん 《彩磁竹幹花瓶》 明治43年(1910)

今回の展示会は、油絵や岩絵の具、つぼなどの工芸品など、様々なジャンルの作品が展示されていて、見ていてあきない展示会だった。中でも私が気に入ったのは、板谷波山が作った《彩磁竹幹花瓶》だ。この作品は、竹の形をした花瓶に竹の絵が描かれていて、竹が本当に風が当たってザワザワとゆれそうなくらいリアルで素晴らしいと思った。

まえはら (前原みのり)

か かふんぼん 《花果粉本》

ぼくは、最初見て「写真じゃないのに花がともきれいに写されているな。」と思いました。全部カラーじゃなくて白黒の所もあるのに、全体の色がそうぞうできました。

かさい たきじ (葛西多喜司)



ほこうさいじおうむ からくさしょうがもよう かびん 《葆光彩磁鸚鵡唐草彫嵌模様花瓶》 大正3年(1914)

はっぱとお花とオウムが描かれている。そののもようと入口のもようが同じ。

たの ここな (田野 心絆)

たけ 竹をかたどっている!



イラスト まえはら かほ 前原 夏帆

イラスト まえはら 前原みのり

イラスト ひきち ゆめ 引地 優萌

や 野菜をかたどっている!



イラスト たの かな 田野 菜絆

イラスト のもと はる 野本 遥

イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人

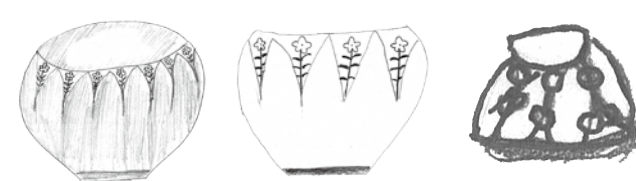


イラスト まえはら 前原みのり

イラスト まえはら かほ 前原 夏帆

イラスト たの かな 田野 菜絆



イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人